

しずかな しずかなメッセージ

0歳、1歳の子どもたちにとって  
泣き声は自分を表現するとても大切な手段。  
お腹すいたよ～ おむつをかえて～  
目がさめたよ～ おかあさんどこ～  
微妙に泣き声を変えながら今の気持ちを伝えます。  
親の方もそんなわが子の泣き声をききながら  
「今はお腹がすいているのかな？」と  
次第に聞き分けられるから不思議です。  
そのくり返しが親と子の愛着を育んでいるのでしょう。

つくし保育園で、新年度の短い期間だけ聞くことのできる  
胸がキュンとさせられる泣き声があります。  
4月のとある日の午前、ほんの1時間余の受容保育を終えた子が  
保育士のひざの上で静かに保護者の到着を待っていました。  
やがてお母さんが玄関に現れる。その顔を見たとき  
その子は「ワァァ～ン」とひと泣き。  
その声は空腹とも、うんちとも違う。お母さんどこ？の泣き声でもない。  
だって今の今までお母さんがいなくても静かだったので。だから。  
でも、泣き声を聞いて、お母さんは笑顔がほころんでいます。  
暖かい手でぎゅっと抱っこされると、その子もすぐに泣きやみます。

私は勝手に想像しました。「会えてうれしいよ～」と言っているのでは？  
その子に聞いてもきっと教えてくれないでしょう。  
大きくなってお話できるようになったら聞いてみたい  
あのときの泣き声はどんな意味だったの？  
でも、それはきっと永遠の秘密。きっと永遠に言葉にならない。  
泣いているのに、最高のラブレターよりたくさんの愛が込められている。  
だからこそ、人生のこの瞬間が、親と子の永遠の宝ものとなるのでしょう。  
(つくし保育園園長 つだかずお)

<だいで教会より>

毎週日曜午前10:30より、子どもと大人一緒に礼拝しています。  
聖書メッセージ、心暖まる讃美歌。卒・在園生、保護者様もぜひどうぞ